

MAST

Mikawa Akabane Shizuoka Toyohashi

岡崎教区広報誌

2024年5月

第10号

発行所／真宗大谷派岡崎教務所

発行人／錦 秀見

編集／教区教化委員会メディア部会

印刷／ブラザー印刷株式会社

赤羽地域教化センター活動紹介

赤羽別院紹介

「二河白道図」絵解き

法宝物展示会報告

共学研修室について

赤羽地域教化センター活動紹介

〈主幹〉

第13組 教榮寺
きょうえいじ

まじま しょう
間島 亨



岡崎教区では教区内4別院に「地域教化センター」という組織が置かれ、それぞれ教化事業を行っています。今回は赤羽別院を拠点とする赤羽地域教化センターの活動を紹介します。

「赤羽地域教化センター」は、地域に根ざした共同教化・共同学習の実践を目的として、2007年に発足しました。事務所は赤羽別院内に設置し、輪番が代表であるセンター長を兼務しております。別院崇敬区（第8組・14組）の住職・寺族・門徒から委員を選出し、約30名で組織が構成されています。任期は3年で、現在6期目に入っています。教化テーマは「念仏僧伽の推進」です。

主な教化事業は、儀式部・伝道部・暮らし部・広報部の4部門が担当し、業務を遂行しています。儀式部は、毎回テーマを絞り、声明・儀式・装束作法を学ぶ研鑽会と毎年10月に勤められる赤羽

別院報恩講に向けたお勤めの稽古を中心に活動しています。

伝道部は、帰敬式受式予定者を対象とした帰敬の集い、帰敬式の準備・設営、教区内外の方々と講師に迎えてお話を聞く真宗講座・暁天講座の企画・運営及び講義録の作成などに従事しています。

暮らし部は、地元の子ども会と連携して、「夏休み子ども絵画展」を実施し、親睦を深めています。また、機関紙である「赤羽御坊」に掲載する俳句や川柳の募集、句会、彼岸会の御堂コンサート、戦争平和のパネルの展示などを行っています。また、社会問題（介護離職・性差別・ハラスメント等）に関する講演会も企画しております。

広報部は、主に機関紙「赤羽御坊」の取材・編集・発行（年4回）に取り組んでいます。現在の発行部数は8000部で、教区内に配布、送付しています。創刊100号を目指し頑張っておりますので（現在77号まで発行）、皆さまから崇敬区内の寺院や組の情報をご提供いただければ幸いです。お待ちしております。

なお、随時、運営会議を行い、各部の活動状況や意見の集約を行っています。また、ご承知のうちに、当別院は小規模別院ですので、別院行事と

センター事業を区分けせずに、互いに連携していくことを基本としています。今後とも何卒皆さま方のお力添えをよろしくお願いいたします。



真宗講座
講師：市野智行氏



装束作法研鑽会
講師：織田頭慶氏

赤羽別院紹介

赤羽別院親宣寺は、もともと江戸の旗本・本目勝左衛門尉親宣の菩提寺として建立されました。親宣夫妻とその両親の墓碑は別院境内に建てられています。

室町時代、三河国幡豆郡吉良庄赤羽村には本願寺8代蓮如上人によって念仏道場が開かれていたと伝えられています。しかし、時代は流れ、いつの頃からか道場は衰退・荒廃し、廃墟となっていました。

その後、岡崎市上六名村に生まれた本目勝左衛門尉親宣が1700年に西尾藩主土井利忠に菩提寺建立を願い出て一色赤羽の地を与えられ、念仏道場の再建として一寺を建立しました。翌年、本願寺第17代真如上人より「本目山親宣寺」と、絵像本尊並びに法名釈了恵を授けられました。以来、地元はもとより近郷在住の人々の真宗信仰のよりどころとなり、長きに亘って護持されました。

このような経過を経て、1798年、第20代蓮如上人の御直意により、東本願寺の直轄寺院である懸所となり、輪番が置かれることとなりました。後に懸所は別院と改称され、「赤羽別院本目山親宣寺」として重責を担ってきました。

真宗門徒が多い西三河南部の地で門徒と良好な関係を築いてきた赤羽別院ですが、自然災害により何度も大きな被害を受けてきました。

1821年、2度の大雨によって当時茅葺きだった屋根をはじめ、本堂内外等、建物全体が悲惨なほどの災害にあいました。3年後には本堂が再建されましたが、1889年の暴風雨による被害では周辺地域の復興が遅れ、別院の復旧にも時間がかかりました。

1936年には当時の御門首、彰如上人の御親修、1938年には一色町の篤信門徒である杉浦米吉氏による山門建立など、喜ばしい出来事もありましたが、1945年の三河大地震では諸殿（庫裏や書院等）10数棟が倒壊するなど大きな被害を受けました。さらに、1959年の伊勢湾台風では本堂も倒壊してしまいました。相次ぐ自然災害に人々が疲弊する中、本堂再建はなかなか進まず、従来境内にあった建物を移設して仮本堂とするなどの対応に留まる状況が続きました。

しかし、次第に本堂再建の機運が高まり、1992年に本堂等再建実行委員会が組織され、翌年から再建工事が始まりました。1995年に新しい本堂である「お御堂」が建立され、親鸞聖人700回御遠忌・蓮如上人500回御遠忌

忌お待ち受け法要・落慶法要が厳修されました。その後現在に至るまで、地域の信仰の中心として念仏の教えを伝える大切な役割を担っています。

参考資料『赤羽地域教化センター設立十周年記念誌 よみがえる 赤羽別院親宣寺の歴史』、『赤羽別院親宣寺宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌お待ち受け法要記念誌』



赤羽別院山門



赤羽別院お御堂

「二河白道図」絵解き



二河白道図

お釈迦様

群賊悪獣

前号で活動紹介をいたしました「三河すーぱー絵解き座」の座員である小山興円氏に、「二河白道図」の解説を寄稿していただきました。

善導大師の『観無量寿経疏(散善義)』には、浄土往生を願う衆生が信心を得て、お浄土にいたる様を譬えた「二河譬」があります。その二河譬を基に描かれたのが「二河白道図」です。

善導大師を敬われた親鸞聖人は、『顕浄土真実教行証文類(信巻)』の中でこの喩えを大切に引用されておられます。

—— 一人の旅人が西に向かって独り進む

と、突如目の前に火と水の河が現れます。幅はわずかに百歩ほどですが、深く底なし、南北に辺はありません。中間に一筋の白道があるのですが、幅四五寸(十数センチ)で常に火に焼かれ、水が押し寄せ、とても渡れそつにありません。

すると後ろから、旅人を殺そうと盗賊や獣が迫り来ているではありませんか。進むことも能

わず、戻ること叶わず、留まることも許されません(三定死)。

絶体絶命の状況で「どうせ死んでしまうのなら、すでにあるこの道を進もう」と、意を決し白道に一步を踏み出そうとしたその瞬間、東岸から「心を定めこの道を行きなさい。」と勧める声がします。同時に西岸からは「私を一心に信じ直ちに來なさい。」と喚ぶ声がします。

群賊たちは戻れと誘いますが、旅人はわき目もふらずにその道を信じて進み、西の岸にたどり着いて善き友と会い、喜びも楽しみも尽きることがありませんでした。

この旅人とは「あなた」のことです。火の河は「瞋恚」、水の河は「貪欲」、群賊悪獣は「念仏以外の教えや様々な苦しみ」、そして白道は「信心」また「本願力」を表します。東岸(娑婆)で「この道を行け」と勧めるのはお釈迦様、西岸(浄土)で「この道を来い」と喚ぶのは阿弥陀様です。

「念仏者は無碍の一道なり」

仏と成るのにすべての道を断たれた凡夫がお念仏申すとき、その細き道は大道へと変わります。どれだけ煩惱が逆巻こうと、もう妨げられることは決してありません。この道こそが私たちが救われる確かな仏道。あなたのために作られた道「南無阿弥陀仏」です。

第16組 本證寺
おやま 興円
住所…安城市野寺町
野寺26番地



「本願寺 実如上人」展 ―五百回忌記念― 展示品一覧

No.	品 目	所 蔵
1	方便法身尊像	西琳寺（伊豆の国市）
2	方便法身尊像	龍讃寺（西尾市）
3	方便法身尊像	専光寺（岡崎市）
4	方便法身尊像	西光寺（岡崎市）
5	十字名号	西光寺（碧南市）
6	九字名号	正樂寺（幸田町）
7	六字名号	淨専寺（岡崎市）
8	六字名号	因超寺（豊田市）
9	小型六字名号（在家用）	西方寺（安城市）
10	小型六字名号（在家用）	蓮成寺（碧南市）
11	十字名号（蓮如上人筆）	明法寺（安城市）
12	六字名号（蓮如上人筆）	専光寺（岡崎市）
13	実如上人寿像	蓮成寺（碧南市）
14	法名記	勝鬘寺（岡崎市）
15	法名	西圓寺（田原市）
16	法名	専光寺（岡崎市）
17	御文（卷子）	正覺寺（刈谷市）
18	御文（卷子）	金勝寺（刈谷市）
19	御文（卷子）	淨光寺（岡崎市）
20	御文（卷子）	淨賢寺（西尾市）
21	御文（冊子）	蓮成寺（碧南市）
21	正信偈文 双幅（実如上人筆）	西方寺（碧南市）
23	正信偈文 双幅（蓮如上人筆）	正願寺（岡崎市）

3月3日から11日、教区教化委員会史料調査部会主催による法宝物展示会および学習会が開催されました。展示会は「本願寺 実如上人展 ―五百回忌記念―」と題し、三河別院・東別院会館二階展示場を会場に、実如上人および筆跡が似ている蓮如上人の法宝物が展示されました。学習会は、大谷大学名誉教授の草野顕之氏を講師に迎え、「実如上人の生涯と本願寺教団」という題でご講義をいただきました。各地への宣伝活動が功を奏し、他県からの来客も含め、展示会は275名、学習会は62名の方にご参加いただきました。



法宝物学習会
講師：草野顕之氏

共学研修室についてお知らせ

岡崎教区は慶讃事業の一環として教学研
鑽機関である共学研修室を昨年度設置
いたしました。現在、来年度の開講に向けて
スタッフが鋭意協議を重ねております。
スタッフは代表である室長と、室長と
もに運営に携わる補導で構成され、以下の
方々に委嘱されております。

室長 本田 康英氏 (第1組萬徳寺)

補導 稲前 恵文氏 (六ツ美組本光寺)

芦谷 恵美氏 (幸田組安樂寺)

佐々木照美氏 (第18組上宮寺)

鶴見 幹氏 (第23組願正寺)

藤原 傳良氏 (松平組徳山寺)

鬼頭 衛氏 (第31組圓満寺)

共学研修室が教区の方々にとって大切な
学びの場となるよう、今後3年間で尽力
いたします。

今回、室長である本田氏に共学研修室設
置の思いをお寄せいただきました。



共学研修室室長
本田 康英

1963年生。萬徳寺住職。
明德保育園を運営してい
る。

共学研修室の設置が承認され、開講の準備
も着々と整ってきました。

「人げん なんのために生きとるげん。」
40年も前に小学一年生なつたまゆみちゃんが、
初めて書いた作文の言葉です。今も私たちは
このことが分からない。だから迷い苦しみ悲
しみ怒りを持ち、右往左往する人生がむなし
く過ぎ終わっていくしかない。

今日を生きる私たちは、暗闇の中を生きて
いる。そのことさえ知らずに嘆きながら生涯
が終わっていきます。人間に生まれた意味は
ここにありそうです、親鸞聖人の辿られた阿弥
陀仏の教えを、お聖教を尋ねながら共に学び
たいと思います。皆さんのご参加をスタッフ
一同お待ちしております。

共学研修室スタッフの顔ぶれ



上段左から 鶴見 幹氏、鬼頭 衛氏、芦谷恵美氏、佐々木照美氏
下段左から 稲前恵文氏、本田康英氏、藤原傳良氏

みんなの掲示板 おいでんみりん

日 日時 会 会場 講 講師 内 内容 テ テーマ 持 持ち物 費 参加費 対 対象 問 問合せ

※新型コロナウイルス感染症の影響により、急きょ変更となる場合があります。

教 区

慶讃事業推進委員会

「青少年教化基礎学習会」

日 5月29日(水) 15時30分～19時
講 酒井 義一氏
(東京教区存明寺)
費 無料
会 岡崎教務所
0564-222-2136

団 体

声明研究会

「第1回 公開声明講習会」

日 6月19日(水) 14時～16時
講 釋氏 昭彦氏(本廟部定衆)
テ 儀式・法要の歴史の変遷
費 500円
(声明研究会会員の方は無料)
持 間衣・輪袈裟(有僧籍者のみ)
会 岡崎教務所
0564-222-2136

地 域

三河地域教化センター

「別院さんの土曜法話会」

日 5月25日(土) 15時～17時
テ 歎異抄第4章
「苦を抜き樂を与える」
日 6月22日(土) 15時～17時
テ 歎異抄第5章
「亡き人を偲ぶところ」

講 市野 智之氏(同朋大学准教授)
(2回とも)

費 500円(2回とも)

持 念珠、(お持ちの方は)真宗聖典

会 三河別院

0564-211-0625

赤羽地域教化センター

「儀式作法研鑽会」

日 6月4日(火) 17時～
内 和讃について
日 7月2日(火) 17時～
内 和讃本の作法について
講 織田 顕慶氏(第8組宿縁寺)
(2回とも)
会 赤羽別院
0563-721-2308

東三河地域教化センター

「聖教学習会 歎異抄に聞く」

日 5月10日(金) 14時～16時
講 平原 晃宗氏(大谷中・高等学校
宗教科講師、京都教区正蓮寺)
テ 歎異抄第11条
費 500円
会 豊橋別院
0532-521-5083

静岡地域教化センター

「真宗落語」

日 6月15日(土) 14時～16時
演 桂小春團治
費 無料
持 念珠、赤本
会 掛川市生涯学習センター

有 志

「正信偈学習会」

日 6月13日(木)～14日(金)
13日 12時30分～17時
14日 9時30分～12時
費 10,000円
会 長浜別院大谷会館
日 7月2日(火) 13時～17時30分
費 5,000円
会 三河別院東別院会館

講 四衢 亮氏(岐阜高山教区不遠寺)

服 間衣、輪袈裟、(門徒)肩衣

持 真宗聖典、筆記用具

問 小栗 貫次

090-4252-7146

組、有志で公開学習会の案内掲載希望の場合は教務所へお問い合わせください。『MAST』は年3回の発行予定です。紙面の都合で、掲載できない場合があります。

※内容は変更となる場合がございます。詳細は教区・団体については教務所、地域については各別院までお問合せください。

『MAST』表紙写真募集のお知らせ

『MAST』は年3回、1・5・9月に発行しており、表紙写真を教区の皆さまから募集しております。今号は第14組西光寺の清澤和音氏より提供いただいた写真を表紙といたしました。

次号第10号は9月の発行となります。写真撮影が趣味の方、ぜひお持ちの写真をご提供ください。お待ちしております。

※都合上、提供いただいた写真を使用できない場合もございます。

【提供方法】

岡崎教務所のメールアドレス…

okazaki@higashihonganji.or.jp 宛てに

写真のデータを添付してご送付ください。



これまでの表紙写真

住職任命

第5組(野田)西園寺 本多 弘誓 (2024年2月28日任命)

編集後記

能登半島地震後に能登教区の公式「ZFM」をフォローした。支援情報等に続いて法話のアーカイブが配信されていた時期があった。今配信することに迷いもあったようだが「こんな時だからこそ、仏法をお届けいたします。」という一文が添えられていた。改めて今仏法を聞いて欲しい、今聞いていかなければならないという能登の御同行の熱い思いに触れた気がした。仏法に我が身を問うべき者として、思いや願いを持って『MAST』に携わっていきたい。

(編集…うえの)

法語

根を養えば樹は自ら育つ

東井 義雄

とうい よしお
東井 義雄

1912年(明治45年)～1991年(平成3年)兵庫県の本願寺派の寺院の長男として生まれる。長年教員を勤め、教育に関する数々の賞を受賞した。

※この法語は『日めくり法語 一語一遇』(東本願寺出版)より抜粋しました。

みなさまの声をお聞かせください

『MAST』に対するご意見、ご要望をお寄せください。下記メールアドレスにて受け付けております。より多くの方に、手に取っていただける広報誌にするためにみなさまのご協力をお願いします。

岡崎教務所 (MAST担当) okazaki@higashihonganji.or.jp



見つけよう、生まれた意義と生きる喜び
～生活の中心に南無阿彌陀仏を～

岡崎教務所 ☎ 0564-22-2136



岡崎教区ホームページ



岡崎教区facebook